

2018.7.1

初版

初版 2018年7月1日

取扱い説明書

LABO XPL P







〒154-0005 東京都世田谷区三宿 1-13-1 東映三宿ビル 4F

TEL 03-5779-8850

FAX 03-5779-8853

<http://www.carpigiani.com/jp>

目次

ご挨拶	3
1.機械保証条件	3
無償保証期間及び範囲	3
保証出来ない範囲	3
2.設置	5
3.各操作ボタン説明	10
ストップボタン	10
OK ボタン	10
シャワーボタン	10
製造ボタン	10
クレモラータボタン	11
攪拌ボタン	12
アップボタン	13
ダウンボタン	13
4.タンクと部品の殺菌	13
5.ジェラート製造（フリージング）	13
製品の抽出	13
ドアオープニングレバーの使用方法	14
フロントリッドの開閉	14
6.フルーツクレモラータ製造	15

フルーツクレモラータ製造時間設定	15
フルーツクレモラータ抽出方法	15
7.分解、洗浄	15
シリンダーの洗浄	16
8.部品の組み立て	18
ピーターの取り付け	18
フロントリッドの取り付け	18
9. ユーザープログラム	20
10.アラーム	21
停電	22

MEMO

㊦ ご挨拶 ㊦

この度は、カルピジャーニ社製機械をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

カルピジャーニ社の製品を十分に御使用して頂くために、御使用される前に必ず熟読されますよう、お願い申し上げますと共に、今後の御発展と御繁栄をお祈り申し上げます。

1993 年より、弊社製造工場はクオリティコントロールマネジメントシステムを導入し、今日現在 UNI-EN-ISO 9001-2008 を取得しております。

カルピジャーニ社製機械は以下のヨーロッパ基準に準拠しております。

- “Machinery” Directive 2006/42/EC
- “Low Voltage” Directive 2006/95/EC
- “EMC” Directive 2004/108/EC
- “PED” Directive 97/23/EC
- Regulation 2004/1935/EC relating to “Materials and articles in contact with foodstuffs” .

本マニュアル記載内容の再作成、送信、コピー、記録媒体への保存、他言語への翻訳はカルピジャーニ社との文書での合意を要します。

お客様はあくまで個人のご使用に限り、コピーは可能です。

カルピジャーニ社において、予告なくマニュアル記載内容の変更、修正を行う場合があります。

1.機械保証条件

無償保証期間及び範囲

保証期間は、機械弊社出荷日から 1 年間と致します。無償保証の範囲は故障した当該部品とし、代品を支給する事と致します。アフターサービスの御依頼は、弊社もしくは弊社指定代理店へ御連絡下さい。ただし、下記による故障については、保証期間内であっても有償となります。

保証出来ない範囲

- ① 本取扱い説明書及び、保証書に指定した使用範囲を守らなかった事による故障の場合。
 - 部品の組み立てミスに起因する故障
 - オーリング等、通常消耗部品を指定期間内で交換しなかった事に起因する故障

- ② 取扱い説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項・指示事項を守らずに、機械を停止させ、故障に至ったと弊社が判断した場合。
- ③ 据付工事に不備がある場合
- 据付工事中的取扱い不良による損傷、破損。
 - 据付配管工事や電気配線が不良と判断される場合。
 - 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず、改善されなかった場合。
 - 各種法規に違反する工事により生じた事故。
 - 振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合。
 - 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした場合。
 - 弊社の製品仕様を現地改造した場合、または移設したことにより生じた事故の場合。
 - 電気部品への切粉侵入による事故（追加部品等取り付けの為に穴加工）。
 - 本品に指定された設置場所、使用温度範囲（次ページを御参照下さい）、使用電圧の範囲を守らなかったことによる事故の場合。
- ④ 弊社の製品仕様を据付に当たって現地改造、付帯工事あるいは移設したことにより生じた事故、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに事故となった場合。
- ⑤ 運転環境及び保守点検が不備なことによる事故の場合。
- 据付場所の不具合による事故（風量確保、化学薬品等の特殊環境条件）
 - 制御機器等調整ミスによる事故。
 - メンテナンス不備（弊社指定の代理店以外の技術者による点検、整備を行った場合）。
 - 修理作業ミス（部品違い、欠品、取り付け不良）。
 - 冷媒過充填、冷媒不足及び冷凍機油不足による事故（起動不良、電動機冷却不良、潤滑不良）。
 - 寒冷条件下、ヒーター取り付け等の氷結対策不備による故障。
 - 異常電圧による事故。
- ⑥ 電源不具合による事故の場合。
- 電源側のヒューズ溶断、電線の端子緩みによる単相通電（欠相）によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
 - 停電後、非常電源への切り替え後の始動時に起こる電源電圧異常低下（200V以下）によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
 - 雷などによる電源への異常高電圧の印加、あるいは過大ノイズ印加によるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
- ⑦ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変による事故。

- ⑧ 国外で使用した場合。
- ⑨ 車両、船舶に搭載使用した場合。
- ⑩ その他、機械の据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事及び使用方法での事故は一切保証出来ません。また、機械運転停止に起因した冷却物、営業補償等の二次補償は致しません。
- ⑪ いかなる自己改善による故障。
- ⑫ オーリング、ピーターシール等、通常消耗品全般及びこれら装着不備又は消耗を放置していた事に起因するトラブル全般。

使用範囲

周囲温度	10～+35℃
周囲湿度	0～85%
電源電圧	3 相 200V ±5%
電圧不平衡率	2%以内
設置場所	屋内
使用冷媒	R-404A
部品洗浄温度（プラスチック製品）	45℃以下



2.設置

安全に関する重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守り下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い戴き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止する為のものです。誤った取扱いをした時に死亡や重大な事故に結び付く可能性が大きいものを《警告》の欄に、状況によって重大な結果に結び付く可能性があるものを《注意》の欄に記載してあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。





取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることの出来る場所に必ず保管して下さい。

絵表示については、次のような意味があります。


	一般的な禁止事項
	必ず守って戴く事項


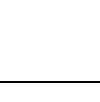

《警告》


○据え付け工事

	<u>据え付けは、専門業者に依頼して下さい。</u> ご自分で据付工事され、不備がありますと水漏れや、感電・火災の原因となります。
	<u>据え付けは、機械の重量に耐えうる場所に確実に行って下さい。</u> 万一不備がありますと、機械が転倒し、ケガの原因になります。
	<u>水のかかる恐れのある場所に据え付けしないで下さい。</u> 発火や感電の原因となります。
	<u>湿気の多いところや、水のかかりやすい場所に据え付けしないで下さい。</u> 絶縁低下から、漏電・感電の原因となります。




○電気工事

	<u>必ず専用回路を使用して下さい。</u> 電気工事は電気工事業者へご依頼して下さい。〈電気工事に関する技術基準〉・〈内線規定〉及び、 取扱い説明書に従って施工し、必ず専用回線を使用して下さい。 専用の漏電ブレーカーを用意し、着実に接続して下さい。不備があると感電・火災の原因となります。
---	--



	<u>機械に接続する配線は確実に接続して下さい。</u> 機械に接続する配線は確実に接続し、配線接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に 接続して下さい。 アースが不完全な場合、感電・発熱・火災の原因となります。
	<u>アース工事を行って下さい。</u> 電気工事業者による第3種設置工事を必ず実施して下さい。アース線は、ガス管・水道管・避 雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。 アースが不完全な場合、感電及び機械誤動作の原因となります。
	<u>電源は専用コンセントを使用して下さい。</u> 電源コードは途中で接続したり、たこ足配線をしないで下さい。機械から半径2m以内、床よ り1m以上の位置にコンセント（ツイストロック、又はハイプロスイッチ）を取り付けて下さ



	い。
	<p><u>電源コードを傷つけたりしないで下さい。</u></p> <p>電源コードを傷つけたり加工したり、引っ張ったり、束ねたりしないで下さい。又、重いものを乗せたり、挟み込んだりすると電源コードが切断され、ショートして感電・火災の原因となります。</p>

○水道工事


	<p><u>給排水接続をしてください。</u></p> <p>水冷機を機能させるために上水に接続してください。0,8 MPa (8 bar) 以上の水圧で接続しないでください。</p> <p>飲料可能な水を接続してください。給水の水圧は少なくとも 0,1 Mpa、時間当たりの使用水量に適した給水を接続してください。</p>
	<p>機械には機械後部パネルに洗浄水と給排水の接続口があります。</p> <p>接続口は3つで縦に並んでいます。</p> <p>給水口は“WATER IN”に接続し、排水チューブは“WATER OUT”に接続してください。</p>
	<p>洗浄を容易にするため洗浄水の接続をお勧めします。直接温水を接続することができます。</p>


○使用上の注意

	<p><u>安全装置の設定は変更しないで下さい。</u></p> <p>オーバーロードの設定及び固さ調整をむやみに変えると、モーターやコンプレッサーの焼損、起動不良の原因となります。</p>
	<p><u>漏電遮断機が作動した場合には、機械購入先にご相談下さい。</u></p> <p>無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因となります。</p>


	<p><u>機械に直接水をかけて洗浄やすすぎをしないで下さい。</u></p> <p>ショートや漏電ブレーカーが作動する等の原因となります。</p>
	<p><u>電源プラグの差込は確実に行って下さい。</u></p> <p>電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタの無いように確実に差し込んで下さい。ほこりの付着や接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。</p>

○修理

	<p><u>分解、修理、改造は行わないで下さい。</u></p> <p>弊社指定業者以外の方は、機械内部を分解、修理、改造を行わないで下さい。</p> <p>分解、修理、改造に不備があると、異常動作によりケガ、感電・火災の原因となります。</p>
---	---











	<p><u>異常時は運転を停止にしてください。</u></p> <p>異常時は、運転を停止して漏電遮断器を切ってください。異常なまま運転を続けると感電・火災の原因となります。</p>
---	---

○移動


	<p><u>移設は専門業者にご相談下さい。</u></p> <p>据え付けに不備があると、水漏れ・感電・火災等の原因となります。</p>
---	--

《注意》


○使用上の注意

	<p>取扱いマニュアルを充分読み、作業を行ってください。</p>
	<p>濡れた手でプラグに触れないで下さい。</p>
	<p>漏電遮断器は、定期的に動作確認して下さい。漏電遮断器が正常作動しないまま使用すると、漏電時に作動せず、感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグを抜く時は、先端のプラグを持って行って下さい。コードを引っ張って抜くと、コードの一部が断線され、発熱・発火の原因になる事があります。</p>
	<p>長時間ご使用にならない時は、安全の為電源プラグをコンセントから抜いて下さい。ほこりが溜り、発熱・発火の原因になる事があります。</p>
	<p>原料の代りに水を入れての運転は出来ません。重大な故障につながる危険があります。</p>
	<p>原料投入については、器具類及び、原料パックの洗浄殺菌には充分心掛けて下さい。</p>
	<p>原料投入量の最低と最大の表示が取扱いマニュアル中に示しています。必ずお守り下さい。</p>
	<p>アラーム表示またはチェックランプが点滅している場合には、必ずその内容を確認し、機械購入先にご連絡下さい。</p>
	<p>原材料の内容成分、機械の使用環境や方法、部品の消耗程度により、製造能力や投入量が、表記値或いはカタログ記載の値とは異なる場合があります</p>



○電気工事

	<p><u>指定容量の漏電遮断器を取り付けて下さい。</u></p> <p>電気工事業者へご依頼下さい。</p> <p>機械には、単独の指定容量の漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。</p>
---	--

○据え付け工事

	<p>機械の運搬は、転倒しないように慎重に行ってください。</p> <p>機械は頭部が重い重量物です。フォークリフト等での運搬は、垂直に保ち、転倒させないで下さい。ケガの原因になります。</p> <p>また、人力で移動させる場合は、足元に充分ご注意の上、ケガをしないように注意して下さい。</p>
---	--

○その他

	<p>冷却に必要なガスは、予めメーカーによって充填されています。</p> <p>ガスの追加充填をする場合は、充填の必要な理由を確認し、専門の技術者が行ってください。</p>
	<p>メーカーでは製造後試運転を行っておりますが、設置場所でも設置・接続後に試運転を行ってください。</p> <p>試運転は専門の技術者の立ち合いの元、行ってください。</p>

略語凡例

本マニュアルでは便宜上、ディスプレイにも表示される略語を使用します。

IMS フロントリッドマイクロスイッチ

PR：圧カスイッチ

RTL：低速モーター用オーバーロード

RTV：高速ビーター用オーバーロード

RTC：コンプレッサービーター用オーバーロード

TTL：低速モーター用マグネットスイッチ

TTV：高速モーター用マグネットスイッチ

TTC：コンプレッサー用マグネットスイッチ

EVF：冷却電磁弁

MC：コンプレッサー

MA：ビーターモーター

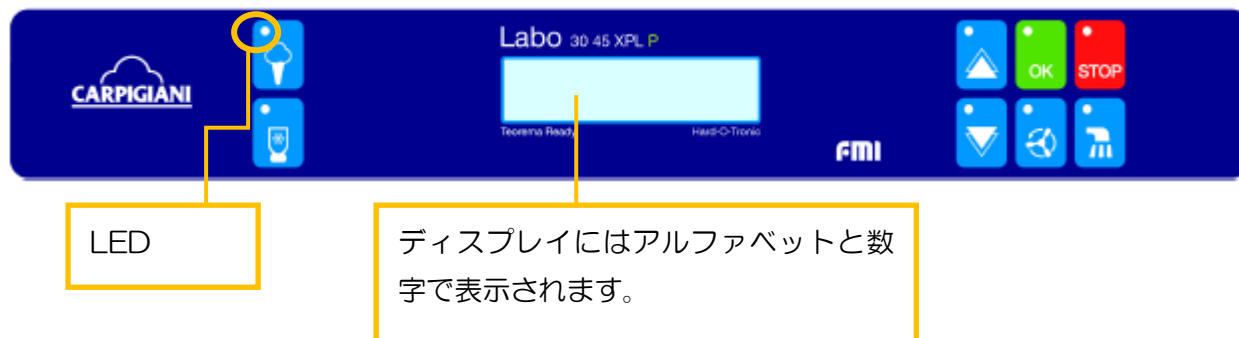
EVW：洗浄水用電磁弁

3.各操作ボタン説明



フロントスイッチパネルは全ての操作のボタンがあります。


フロントスイッチパネルから、機械の全ての機能を制御することができます。



ボタンを押すと、押したボタンの LED が点灯します。



	ストップボタン	このボタンを押すと、機械は停止します。 機械はストップ状態からあらゆる機能に入ることができます。 ボタンを押してから 3 秒すると表示パネルのバックライトが消灯します。
	OK ボタン	このボタンを押してプログラムを決定します。
	シャワーボタン	このボタンを押すと、機能中のプログラムに関わらず、機械正面のシャワーで給水することができます。もう一度シャワーボタンを押すと、給水が止まります。 給水を停止する場合は、STOP のボタンを押します。3分経つと、自動停止になります。
	製造ボタン	このボタンを押すと、ディスプレイは下記のプログラムを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ GELATO ➤ GELATO FRUTTA アップダウンボタンを押して*印を移動させ、プログラムを選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> * GELATO GELATO FRUTTA </div> 製造ボタンをサイド押すか、5 秒待つとプログラムが開始します。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ GELATO/ GELATO FRUTTA (シャーベット)

	<p>製造ボタン</p>	<p>ミックスは設定した固さ（HOT）まで冷却されます。どちらのプログラムも、適切な HOT に自動で設定されます。</p> <p>GELATO を選択すると、ディスプレイは下記の通り表示します。</p> <div data-bbox="670 436 1144 582" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> SET 100 GELATO 005 </div> <p>GELATO FRUTTA を選択すると、ディスプレイは下記の通り表示します。</p> <div data-bbox="670 651 1144 797" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> SET 090 GEL.FRU 005 </div> <p>“SET” は設定された固さです。（アップダウンボタンで固さの設定の変更が可能です。）</p> <p>製造ボタンを押すと、タイマーが表示されます。</p> <div data-bbox="670 1048 1144 1193" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 060 20:00 GELATO 033 </div> <p>上段左側：HOT のタイマー 上段右側：カウントダウン 下段：現在の HOT</p> <p>再度製造ボタンを押すとn最初の画面に戻ります。</p>
	<p>クレモラータボタン</p>	<p>➤ SLUSH FRUTTA(cremolata)</p> <p>ミックスは設定した時間または固さ（HOT）まで冷却されます。ディスプレイは下記の通り表示します。</p> <div data-bbox="702 1659 1174 1805" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> SET 10:00 SLUSH 08:56 </div> <p>SET は製造にかかる時間です。</p> <p>製造中、アップダウンボタンで時間の設定の変更が可能です。</p> <p>時間の設定は 1 分ごとで、2 分～20 分の設定が可能です。</p> <p>タイマーは 1 秒単位でカウントダウンします。</p>

		<p>製造の最後は冷却が停止され、攪拌のみになります。 製造が終了すると、ビープ音が鳴ります。</p>
	<p>攪拌ボタン</p>	<p>➤ 洗浄機能 この機能を選択すると、冷却はされず、攪拌のみ行います。 洗浄中、アップダウンボタンで攪拌速度を換えることができます</p> <p>注意 この機能を選択してから 1 分経つと、ビーターの摩耗を防ぐため、自動で攪拌が停止します。</p> <p>➤ 抽出機能 この機能を選択すると、攪拌ボタンの LED が点灯し、低速で攪拌します。 ディスプレイは下記の通り表示します。</p> <div data-bbox="754 916 1244 1052" data-label="Text"> <p>TIMER 03:00 Vel. 1</p> </div> <p>攪拌を停止するにはストップボタンを押すか、3 分待ちます。</p> <p>攪拌昨日から攪拌冷却(GELATO 及び GELATO FRUTTA プログラム)にアクセス可能です。その場合、製造ボタンの LED が点灯し、コンプレッサーが 20 秒間作動します。プログラム終了時には冷却をしない攪拌に戻ります。</p> <p>アップボタンを押すと、高速攪拌になります。</p> <div data-bbox="742 1476 1232 1612" data-label="Text"> <p>TIMER 03:00 Vel. 2</p> </div> <p>ダウンボタンを押すと、低速攪拌になります。</p> <div data-bbox="742 1740 1232 1877" data-label="Text"> <p>TIMER 03:00 Vel. 1</p> </div>

	アップボタン	このボタンで機能及びプログラム中の数値を高くします。
	ダウンボタン	このボタンで機能及びプログラム中の数値を低くします。 このボタンを押してアラーム表示を消去します。

4. タンクと部品の殺菌

- ① 製造前に全ての部品を機械に取り付け、シリンダー内に規定量の次塩素酸系殺菌剤を投入して、更に水を投入してください。
- ② 攪拌スイッチを押して、5～10秒間ビーターを攪拌させて、濃度が均一な殺菌液に調整してください。攪拌時間は短時間で終了させてください。長時間、運転した場合は、ビーターやスクレーパーを短期間で消耗、破損させる原因となります。
- ③ 殺菌液にメーカー指示通りの時間浸した後、部品を組み付けた状態でリンスしてください。
- ④ 殺菌後は、部品を外して他の場所に置いたり、不用意に部品に触れたりしないでください。

注意

殺菌剤はメーカー指示に従ってお使いください。又、部品の殺菌液への長時間の漬け置きは部品の破損原因となるのでしないでください。

5. ジェラート製造（フリージング）

アップダウンボタンを押して*印を移動させ、プログラムを選択します。

OK ボタンを押してプログラムを決定し、開始します。

プログラムが終了すると、ピープ音が鳴ります。

製品の抽出

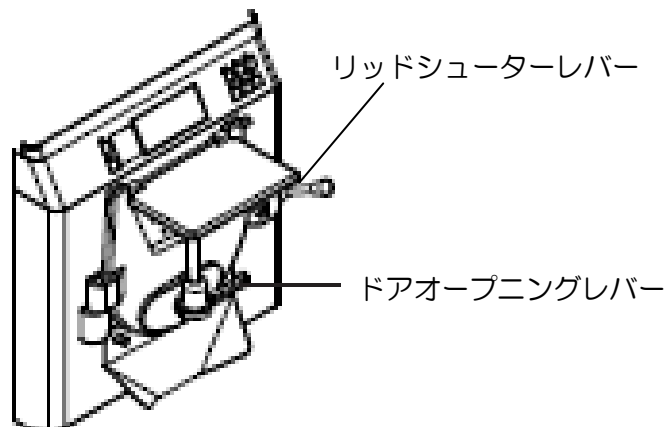
- ① 抽出口の下シェルフにラバーカーペットをセットし、バットを置きます。
- ② ドアオープニングレバー(1.)を90℃左に回し、少しずつ上に上げてアイスクリームドアを開けます。
- ③ ドアオープニングレバーを右に回し、ロックします。
- ④ 攪拌ボタンを押します。

注意

- 抽出が終了したらストップボタンを押します。ストップボタンを押さなくても、スクレーパーの摩耗を防ぐため、機械は攪拌開始 3 分後に停止します。
- 製品の抽出の際にはプラスチックスパチュラをご使用ください。ステンレススパチュラを使用するのは機械を傷つける場合があります。

ドアオープニングレバーの使用方法

- アイスクリームドアをロックする
ドアオープニングレバーを止まるまで右に回します。
- アイスクリームドアを開ける
左に 90° ドアオープニングレバーを回し、上に上げます。
- アイスクリームドアを閉める
「開ける」と逆の動作を行います。



フロントリッドの開閉

- フロントリッドを開ける
リッドシューターレバーを上へ上げ、右に引いてリッドを開けます。
- フロントリッドを締める
リッドシューターレバーを左に引き、下へ下げてロックします。

6.フルーツクレモラータ製造

- ① フルーツミックスを機械に投入します。
- ② 機械が停止している状態からクレモラータボタンを押します。フルーツクレモラータプログラムでは、間欠攪拌が行われます。
- ③ 設定された時間が終了すると、ビープ音で製造終了を知らせます。

フルーツクレモラータ製造時間設定

製造中、アップダウンボタンで製造時間を設定することができます。最長は 20 分、最短は 2 分です。

製造時間が長くなるほど製品を乾燥状態に仕上げます。

設定された製造時間はディスプレイに表示されます。

ブラックアウトが起こった場合、最後に設定された製造時間が保存されます。

フルーツクレモラータ抽出方法

ストップボタン押し、プラスチックスパチュラを使用して抽出口から製品を抽出します。

注意

製品の抽出の際にはプラスチックスパチュラをご使用ください。ステンレススパチュラを使用しての抽出は機械を傷つける場合があります。

7.分解、洗浄

- 洗浄する際、部品の表面を損なうような洗浄剤を使用しないでください。
- 機械洗浄の際、表面に傷を付けたり、保護フィルムを弱くしたりするような研磨材や鋭い工具など使用しないでください。
- 機械や部品に傷をつける可能性がありますので、スチールウールを使用しないでください。
- 表面のスチールを損なうことがありますので、漂白剤、アンモニア、塩酸等使用しないでください。
- 部品の洗浄の際、食器洗浄機を使用しないでください。
- 付属のブラシを使用して洗浄してください。
- 洗浄の際には飲用水を使用してください。
- 洗浄後、部品を完全に乾燥させてください。

注意

洗浄後、部品の傷や摩耗を目視でチェックしてください。

傷や摩耗がある部品は直ちに交換してください。

シリンダーの洗浄

<p>(1)</p> 	<p>① アイスクリームを全て出し、ドアを閉じて、投入口にシャワーノズル（１）を持って行き、洗浄ボタンを押して、シリンダー内に水を溜めます。</p> <p>洗浄ボタンを押して攪拌します。（３分後に自動的に停止します）</p> <p>注意 <u>シャワーホースを引き出している時にはピーターを回転させないでください。</u> <u>ホースがピーターに巻き込まれる場合があります。</u></p> <p>水やお湯での長時間の攪拌は、部品の短期間での消耗原因となりますのでしないでください。45℃以上の高温のお湯を投入しての洗浄は、部品破損原因となりますのでしないでください。</p>
	<p>② ピーターを取り外します。</p> <p>この際にピーターエンドをシリンダーにぶつけないようにピーターを引き抜いてください。</p> <p>シリンダーに傷を付けてしまった場合には、鉄粉等の異物混入の原因となる恐れがあります。</p>
	<p>③ フロントリッドを90° 開き、垂直に上へ持ち上げ、機械から取り外します。</p>

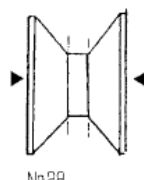
	<p>④ シリンダー奥のピーター差込穴にシリコンシールドプラグ（２）を差し込んでください。装着せずに洗浄作業を行いますと、水が機械内部に侵入し、機械故障の原因となります。</p> <p>中性洗剤を含ませたスポンジでシリンダー内を洗浄します。汚れが落ちたら、シリンダー内をシャワーでゆすぎます。</p>
	<p>⑤ フロントリッド(3)、オーリング(4)、ガスケット(5)等を取り外して中性洗剤で洗ってください。</p> <p>全てのオーリングを部品から外してください。又、オーリングを外す際には、付属のオーリングリムーバをご使用ください。</p> <p>オーリングに傷等が付きますので、ナイフなど先の尖った物で外さないでください。</p>
	<p>⑥ シェルフ(6)を上方向に引き上げ取り外して、洗浄してください。又、機械本体の装着部(7)も洗浄してください。</p>
	<p>⑦ スクレーパーを差し込む穴は、付属のブラシで洗浄します。ピーターのシャフト部分(が油で汚れている場合がありますので、ペーパータオルなどでふき取ってから洗ってください。</p>

洗浄の終わった部品はよく乾燥させます。

8.部品の組み立てと取り付け

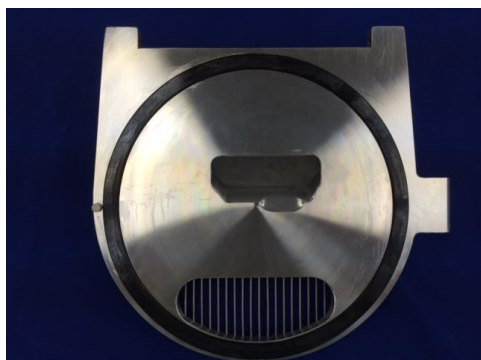
ピーターの取り付け

- ① ピーターシールが摩耗していないか確かめてください。
- ② ピーターシール(8)の両面にジェリリユープを塗布します。



- ③ ピーターシールをシャフトに装着します。
- ④ ピーターをシリンダーに差し込む時は、両手でピーターを持ち、ピーターエンドをシリンダーにぶつけないように挿入します。ピーターが挿入出来ない場合は、ピーターエンドの位置とドライブハブの位置が合っていないので、ピーターを回転させて、正常な位置に合わせて、奥まで挿入してください。

フロントリッドの取り付け



- ① ガasketにジェリリユープを塗布し、フロントリッド裏の溝に装着します。



- ② フロントリッドをリッドホルダー(9)にホルダーの真上からゆっくりと装着します。
斜め上から装着するとリッドホルダーが曲がります。
また、フロントリッドが外れなくなりますので、ご注意ください



- ③ アイスクリームドアガasketにジェリリューブを塗布し、アイスクリームドア裏の溝に装着します。
ガasketの平らな面をアイスクリームドア裏の溝にはめこんで装着します。



- ④ アイスクリームドア正面の溝にレバーを当て、アイスクリームドアとレバーを一緒に機械に装着します。



- ⑤ レバーを右に回し、アイスクリームドアを固定します。
オーリングにジェリリューブを塗布し、装着します。

MEMO

9. ユーザープログラム

ストップボタンとダウンボタンを同時に押すと、“Manager Menu” がディスプレイに表示されます。

Hour
Step U01 15

アップダウンボタンで時間の設定が可能です。

ストップボタンを押すと、次のステップのユーザープログラムに移動します。

アップダウンボタンで設定の変更が可能です。

Passo	Display	Note	U.M.	MIN	MAX	Tipico
U01	Ore		Ore	0	23	
U02	Minuti		min	0	59	
U03	Giorno Settimana		gg	Dom	sab	
U04	Giorno del Mese		gg	1	31	
U05	Mese		mm	1	12	
U06	Anno		yyyy	2000	2099	
U07	Linguaggio	Ita,Eng,Fra, Deu,Esp,Jpn	n°	Ita	Jpn	ITA
U08	Fahrenheit		Y/N	No	Yes	No
U09	Qart		Y/N	No	Yes	No
U14	Tempo Doccetta		Sec	015	300	180
U15	Timer BackLight		Min	000	030	003

- U01- U06 日付、時間設定
- U07 言語設定
- U08 摂氏・華氏表示設定
- U09 容積表示設定
- U14 シャワー給水時間設定
- U15 ディスプレーバックライト消灯時間の設定

パネルのボタンをどれか押すとバックライトは点灯します。設定が 0 の場合、バックライトは常時点灯する設定となります。

- 30 秒を待つか、洗浄ボタンを押すと、ユーザープログラムから出ます。

10.アラーム

アラームが表示された際には、ディスプレイが点滅します。

ダウンボタンを押すと、アラームはリセットされます。

アラームをリセットを行わない場合、機械は停止状態のままとなります。

ディスプレイ表示	説明
Alarm PR	高圧スイッチが作動しました。冷却水が流れているかを確認して下さい。 ディスプレイに“Alarm PR ” が表示されます。 高圧スイッチは自動復帰しますが、3回作動した時点で機械は停止します。 もしくは一度に 2 分間高圧スイッチが働いたままでも機械は停止してしまいます。
Alarm RTC	コンプレッサーサーマルリレー不良。機械は停止します。ディスプレイに“Alarm RTC ” が表示されます。
Alarm RTL	低速攪拌サーマルリレー不良。機械は停止します。ディスプレイに“Alarm RTL ” が表示されます。
Alarm RTV	高速攪拌サーマルリレー不良。機械は停止します。ディスプレイに“Alarm RTV ” が表示されます。
Blackout	停電発生。履歴にメモリーされます。
Spigot Door Open	IMS フロントリッドオープン。機械は停止します。アラーム履歴に残りません。 フロントリッドを閉めると、アラーム表示は消えます。
Power back on	停電復帰。ディスプレイに“Power back on” が表示されます。機械が自動霜取りを必用としている場合、このアラームが表示された数秒後に自動霜取り表示になります。
Time out Prd	製造時間超過が発生しています。 HOT が設定数値まで上がらずに、コンプレッサーが 15 分以上動作し続けた場合、機械は Timeout Prd のディスプレイ表示とアラーム音が鳴り停止します。 ダウンボタンを押すと、アラームはリセットできます。

	<p>投入原料量の過不足、スクレーパーの消耗、高すぎる HOT 設定値などが原因として考えられますので、ご確認ください。</p> <p>再発する場合や度々発生する場合は、電気系や冷凍系の故障も考えられますので、技術者による点検が必要となりますので、技術者の手配を行ってください。</p>
--	---

停電

停電時作動していた機能により、機械は様々な反応をします。

- 機械停止、洗浄、攪拌時の停電の場合、復旧すると機械は再起動して停止状態となり、停電復旧は表示されません。
- 製造時の停電の場合、復旧すると機械は再起動して停止状態となり、停電復旧が表示されます。

MEMO

MEMO



カルピジャーニ・ジャパン株式会社

本社 〒154-0005
東京都世田谷区三宿 1-13-1 東映三宿ビル 4F

電話：03-5779-8850(代表)

コールセンター：tel 03-5779-8864
部品注文書宛先：fax 03-5779-8853